

2年次で「漢詩AAL」を実施しました。

しばらく「並木ドリーム」をお休みさせていただいていました。申し訳ありません。2月より、再開いたします。どうぞ、よろしくお願いいたします。

私は、これからの時代には「アート」が大切だと考え、2018年にAAL（アート・アクティブ・ラーニング）を提唱し、全国に発信しています。すべての授業において「アート」を意識して、生徒たちの「感性」を育てて欲しいと思っています。このAALについては、具体的な方法・手法は、あまり伝えず、言葉とイメージを先行させました。すると、昨年から本校で次々にAALが開発されています。校長としてたいへん嬉しいことですし、先生方のカリキュラム開発力に感心しています。今号では、2年次（中2）の国語での「漢詩AAL」の作品を紹介します。漢詩を鑑賞し、そこから想像した情景を絵で表現するというAALでした。その選定理由も書いてあります。廊下に貼ってある作品を見て、生徒たちの「豊かな感性」に驚きました。雪舟のような水墨画、東山魁夷のような構図、ゴッパンのような色使い、ゴッホのような太陽、マティスのような意匠など、本当にビックリしました(^o^)!!

